



昔ながらの沖縄の民家の佇まいを見せる金城村屋。金城町石畳道の途中にある無料の休憩所、地域の集会所にもなっている。石畳道は雨の日は滑りやすいので気をつけて!



金城大樋川。古い共同井戸で、この水を使って紙すきを行ったのが、琉球の紙づくりの始まりとされている。
屋根の上のシーサー。魔除けの意味があるが、愛嬌たっぷり、ひょうきんなものが多い。



首里城から回ってみよう 古都のまち歩き

首里城見学をすませたら、首里のまち歩きへ。王国時代に王様も通った石畳の道や、沖縄戦を生き抜いた古木など、古都の風情を楽しみながらのんびり散策を楽しめば、少しだけ琉球の世界に近づいたような気持ちになれますよ。

首

里のまちには琉球王国時代の史跡が残っている。

今日は金城町に残る石畳道を中心に、散策を楽しむコースを紹介しよう。ここは古都首里のお屋敷まちの面影を今に伝える、風情ある道だ。

首里城と首里杜館の間の道を行くと、右側に真珠道の表示がある。そこから下りて、赤マルソウ通りを横切ると、金城町石畳道の入口だ。この道順は、国王が別邸の識名園へ向かったときの道筋でもある。守礼門から直進して、王家の陵墓・玉陵を見学してから、玉陵坂を下りていくコースもお勧め。

首里は緑化活動が盛んな地域で、詳しい解説付きの名札も設置されている。亜熱帯の花と緑を楽しみながらのんびり歩きたい。金城町石畳道は全長300メートル。鳥の声があたりに響き、のどかそのもの。坂の途中にある赤瓦屋根の金城村屋は、観光客の休憩所にも、地域住民の集会所にもなっている。ここの縁側に腰掛け、しばし休



樹齢200年とも300年ともいわれる大アカギは、うっそうとした緑におおわれた御嶽(拝所)の境内にある。国指定天然記念物。石畳道のすぐ近くにあり、案内板も出ている。



首里崎山町にある1887年創業の瑞線酒造。泡盛の試飲や製造工程のビデオが鑑賞できる。瑞泉は首里城内に湧き出る泉の名にあやかっしたもの。一部の街路樹はアカギとサガリバナ。

憩。村屋の前のガジュマルの木の下は、絶好の撮影スポットになっている。首里には湧水が多く、村屋の隣にも金城大樋川がある。ここはかつての共同井戸で、どっしりとした石積みで囲まれている。近くには樹齢300年ほどの大アカギがある。沖縄戦を生き抜いた古木の前に立つと、気持ちが落ち着く。手書きの説明文によると、1年のうち1日だけ、願いを叶えてくれる日があるのだとか。帰路、赤マルソウ通りにある瑞泉酒造まで足を延ばすのもいい。新酒から10年熟成古酒まで、泡盛の試飲が楽しめる。

古都首里の佇まいを残す石畳道。



ランチにおすすめ



綾門

首里城近く、玉陵の道向かいにある食堂。一押しはてびちそば。沖縄そばがメインだが、沖縄料理も3品あり、セットでも楽しめる。那覇市首里真和志町2-21-3 ☎070-5402-0654 ㊟11:30~15:00 ㊟日・月曜



CONTE

モノレール首里駅の近く、路地を少し入った所にあるカフェ。沖縄の野菜を使った料理とオリジナル焙煎のコーヒーが楽しめる。沖縄の焼き物やガラス、首里生まれのハチミツなどの販売も。那覇市首里赤田町1-17 ☎098-943-6239 ㊟11:00~17:00 ㊟月曜



琉球新報 電子新聞

世界のどこでも朝5時に!

琉球新報 + 電子新聞 = 新聞購読料 + 300円

琉球新報ダブルプラン

現在の琉球新報購読料金と合わせて決済いたします。口座振替自動引落または、クレジット払いをご利用ください。

◆離島・郵送地域は情報格差解消のため、ダブルプラン(300円)を無料とさせていただきます

電子新聞 = 月額 3,075円

電子新聞定期購読プラン

※お支払はクレジット払いのみとなります。

電子新聞 = 一部 130円

単品およびバックナンバー

※お支払はクレジット払いのみとなります。

お問い合わせは琉球新報電子新聞係
TEL. 098-865-5012 *平日午前10時~午後4時

琉球新報 検索

●「琉球新報ダブルプラン」は、琉球新報購読者向けのサービスです。現在琉球新報を購読されていない方でも、お申し込みの際に新聞購読を併せて申し込んでいただくことで、電子新聞をご利用できます。●ご購入または購読お申し込みの確認ができない場合は、サービスのご利用はできません。●「琉球新報ダブルプラン」は個人を対象にしたサービスです。企業、法人、公共団体でのご利用はできません。電子新聞のみのコースをご利用ください。●琉球新報購読料と利用料金300円のお支払いは口座振替自動引落、クレジット払いをお願いいたします。●琉球新報のご購読を中止した場合は「琉球新報ダブルプラン」での電子新聞の利用もできなくなります。●「琉球新報ダブルプラン」と「電子新聞定期購読プラン」のご利用は毎月自動継続されます。自動継続の解除をご希望される場合は、マイページの「ご契約内容」から解約申し込みをしてください。ご利用は月単位になり月途中の解約や日割り計算はできません。●ダブルプランでの電子新聞のご利用は、琉球新報購読者様ご本人のみとさせていただきます。